

カナダ ブリティッシュ・コロンビア州



世界トップクラスの

ICT ハブ



北米で急成長を続けるテクノロジー
エコシステムに参加しませんか？

ブリティッシュ・コロンビア（BC）州には、マイクロソフト、ビジョン・クリティカル、インテル、ACL、シエラ・ワイヤレス、フートスイート、タブローなどのグローバルプレイヤーに加え、10,200社以上の革新的なテクノロジー企業が集積しています。

BC州では、優秀でコスト競争力のある労働力、低い税率、リアルタイムのコミュニケーションに便利なタイムゾーン、さらには起業家精神に溢れ、多文化が共生し、イノベーション、コラボレーション、成長を重視するプロフェッショナルコミュニティを手に入れることができます。



ブリティッシュ・コロンビア — テクノロジー企業が成長する場所

BC 州はダイナミックに発展する ICT 産業の拠点であり、ICT クラスタには、SaaS、エンタープライズ向けソリューション、IoT、モバイルテクノロジー、クラウドコンピューティング、ビッグデータ、機械学習、e コマース、近年急速に成長しているフィンテックとセキュリティ関連の企業 2,650 社が集積し、20,500 人以上の雇用を生み出しています。これらの企業は、世界有数の研究所や大学と連携し、革新的なソリューションや画期的なプラットフォームの開発において最前線で活躍しています。

サムスンやセールスフォース・ドットコムのような大手グローバルテクノロジー企業は BC 州に注目し、同州とのつながりを強化してきました。世界のベンチャーキャピタルは、2017 年に BC 州で 91 件の投資案件に 6 億 4,600 万ドルの資金を投下しました。BC 州は北米で最も新しく、活気に満ちたテクノロジーハブとして存在感を増し続けています。

ブリティッシュ・コロンビア州の ICT 産業の優位性

BC 州ではバンクーバー、ビクトリア、ケロウナなど、複数の都市にテクノロジークラスターが形成されており、大手グローバル企業や急成長するスタートアップ企業の誘致に成功しています。こうした企業は、BC 州では優秀で多様に富んだ人材を確保できる点に魅力を感じています。

2017 年、世界のスタートアップエコシステムを格付けする Startup Genome より、バンクーバーの B.C. エコシステムはカナダで第 1 位、世界で第 15 位に格付けされました。バンクーバーにはテクノロジー関連のスタートアップ企業 800~1,100 社が拠点を構え、豊富で革新的な人材を活用して活気溢れるテクノロジーエコシステム業界に貢献しています。

BC 州は事業コストが低く、先進的な研究インフラが整備され、政府による企業支援も充実しています。また、米国やアジアと密接な関係を築いており、BC 州は投資先やパートナー企業を探す、または企業を成長させる場所として最適です。

優秀な人材

BC 州の広範なテクノロジーエコシステムを支えるのは、10万6千人を超える柔軟で教育水準の高い大規模な労働力であり、技能に優れ、多種多様なエネルギーな人材であると言えます。同州は技術関連の卒業生を多数送り出し、その数は年々増加しています。同州における賃金は上昇しつつありますが、依然としてコスト競争力を備えています。

BC 州政府は、連邦政府と連携のもと州経済の発展と成長を目的とした開放的な移民政策および高技能を有する移民の受入れ枠の継続的な増加を支援しています。ブリティッシュ・コロンビア州推薦プログラム (the BC Provincial Nominee Program: BC PNP) 等の各種プログラムにより、テクノロジー企業はグローバルトップレベルの人材、リーダーシップの雇用受入れを効果的に行うことが可能です。BC PNP Tech Pilot では、テクノロジー産業の急速な需要に対応できるよう移民申請は優先されます。



教育、研究・開発、アクセラレーター

BC 州には 25 の州立高等教育機関があり、州内の成長著しい活気溢れるテクノロジー産業と連携してさまざまな取り組みを行っています。例えば、ブリティッシュ・コロンビア大学 (UBC) はここ数年で 50 の「リサーチチェア」と呼ばれる研究専門の教授ポストを設け、170 以上のスピンオフ企業を立ち上げています。また、BC 州の大学にはコンピューターサイエンスとエンジニアリングを学ぶ優れたプログラムがあり、毎年 2,900 名を超える学生を送り出しています。UBC をはじめとする世界トップクラスの教育機関には、多様な領域の先端研究施設ならびに州の中核的研究拠点があります。以下はその一例です。

- ▶ **The Institute for Computing, Information and Cognitive Systems**
(コンピューティング・情報技術・認知システム研究所)
- ▶ **The Stewart Blusson Quantum Matter Institute**
(スチュワート・ブラソン量子物質研究所)
- ▶ **Laboratory for Advanced Wireless Communications Research**
(先端ワイヤレス通信研究所)
- ▶ **Communication Networks Laboratory** (通信ネットワーク研究所)

上記の研究所はさらに、活気に満ちた成長中のアクセラレーターコミュニティの支援を受けています。またこれらのコミュニティを先導するのが、BC 州イノベーション協議会が策定した「ベンチャーアクセラレーションプログラム」です。「ベンチャーアクセラレーションプログラム」は、意欲的に活動するアリーステージの起業家とそのテックベンチャー企業を指導し、成長を促進するために設立された公的資金プロジェクトです。本プログラムには州内のアクセラレーターパートナーのネットワークが含まれています。以下はその一例です。

- ▶ **VentureLabs (ベンチャーラボ)** — サイモンフレーザー大学とカナダ国立研究機関、その他州立 / 国立大学が共同で実施する大規模なアクセラレータープログラム。
- ▶ **Accelerate Okanagan (アクセラレート・オカナガン)** — 独自のプログラムを、スタートアップ時の基本事項から市場拡大時のアクセラレータープログラムに到るまで、あらゆる成長段階に合わせて用意しています。
- ▶ **VIATEC (ビクトリアのイノベーション・先端技術・起業家協議会)** — ビクトリアを拠点に系統立てたベンチャー育成サービスを提供し、起業家が BC 州の活気溢れる成長著しいテクノロジーシーンで事業の立ち上げと成長を実現する支援をします。
- ▶ **entrepreneurship@UBC (アントルプレナーシップ @UBC)** — 大学が主体となって運営する、メンターによる指導と開業資金の調達を組み合わせたアクセラレータープログラムで、学生や卒業生のテックベンチャーの創業や成長を支援しています。

BC 州には、ローンチ・アカデミー、スプリング・アクティベーター、ハイライン・アクセラレーター、ビクトリー・スクエア・ラボなどの、コーチングやシード資金を提供するプライベートインキュベーターやアクセラレーターも多数あります。



政府による充実した支援策

- ▶ BC 州の一般法人税率はわずか 12% です。連邦法人税と州法人税の合算税率は 27% です。
- ▶ BC 州では、年間個人所得が 125,000 ドル以下の場合、カナダで最も低い州所得税が適用されます。
- ▶ 雇用主による従業員の医療保険の負担は任意です。また、保険費用は非常に低いです。
- ▶ BC 州政府の技術戦略を担う The #BCTECH Strategy は、優秀な人材、資本、データ、市場アクセスに的を絞って、同州のテクノロジー産業の継続的な成長を促します。
- ▶ 1 億ドルのテクノロジーファンドである BC Tech Fund は、ベンチャーキャピタルのファンドオブファンズであり、州内の急成長企業に資金を提供し、堅固なベンチャーキャピタルシステムの発展を支えています。

KPMG の「国別事業立地選定ガイド」において、カナダは「総合的な事業コストの低さ」で世界第 2 位にランクインしています。また、同ガイドの北米、ヨーロッパ、メキシコ、オーストラリア、日本の 100 都市を対象にしたランキングで、バンクーバーは第 5 位に選ばれています。太平洋西岸にある 14 都市を比較するなかでは、BC 州のバンクーバーとケロウナが第 1 位と第 2 位に格付けされ、米国のシアトルやサンフランシスコよりも上位にランクインしています。

事業優遇制度

BC 州政府は、R&D、クリエイティブ産業、映画制作、国際ビジネス活動などの特定の事業分野に焦点を当てたさまざまな税額控除プログラムを提供しています。州政府は税率、賃金、事業コストが低く、すでに競争力のある事業環境に、このような的を絞った優遇措置を導入することで、ビジネスを成長させ、成功に導く手助けをしています。

科学的研究および実験開発 (SR&ED) — R&D と SR&ED を支援するためのカナダ最大の優遇措置で、カナダ人の管理下にある適格な民間企業に税額控除を提供することが可能です。この優遇措置では、カナダ国内で実施された科学的研究および実験開発 (SR&ED) にかかった適格な支出を最大 35% まで税額控除の対象とすることができます。その他のカナダ企業は 15% の州税控除を受けられる場合があります。

MITACS — ビジネスやイノベーションの創出につながる応用研究やトレーニングプログラムに資金を提供しています。これまでに 60 校を超える大学とパートナーを組み、13,000 以上のプロジェクトに資金を提供しました。

BC 州に拠点を置く主な ICT 企業

BC 州のテクノロジー産業は継続した成長を遂げ、50 人以上の従業員を雇用する企業は 440 社を超えています。BC 州の主な大手 ICT 企業は以下の通りです。

1. SAP カナダ
2. マイクロソフト・バンクーバー
3. フォーティネット
4. アビジロン
5. ビジョン・クリティカル
6. シエラワイヤレス
7. IBM
8. グローバルリレー
9. アブソリュート・ソフトウェア



BC 州ビクトリア



BC 州ケロウナ

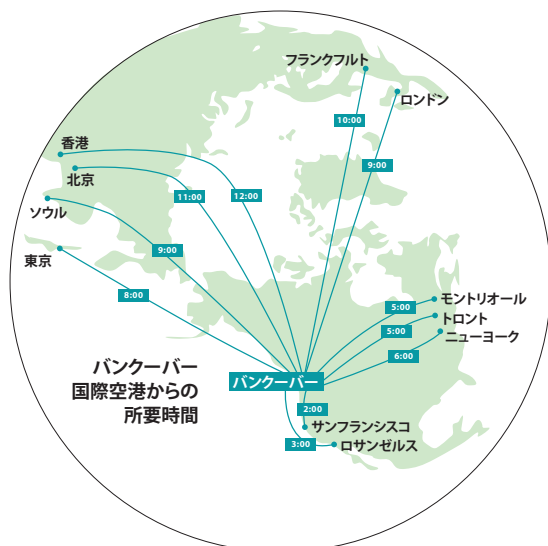
生活の質

BC 州の暮らしやすさを統計から評価すると、北米の他都市と比べ非常に有利な結果が見うけられます。マーサー社は 2017 年、「世界生活環境調査」において、バンクーバーをアメリカ大陸第 1 位、世界第 5 位の都市に格付けしました。また、英紙エコノミストが世界の 140 都市を対象に調査した「世界で最も住みやすい都市」ランキングでも、バンクーバーは第 3 位に選ばれています。こうした調査結果は、BC 州の治安、医療、文化・環境、教育、インフラの水準の高さを示しています。

絶好の立地

BC 州はカナダにおけるアジア太平洋地域へのゲートウェイであり、事業拠点として非常に便利な場所です。BC 州のビジネスアワーは、ヨーロッパの午後やアジアの午前の営業時間と一部重なっており、米国のカリフォルニア州やワシントン州と同じタイムゾーンです。

BC 州では、ビクトリア、ケロウナ、バンクーバーの各国際空港を含む 6 つの空港で国際線の就航を扱っています。世界の空港ランキングでは、バンクーバー国際空港 (YVR) は北米の空港の中で第 1 位に選ばれており、8 年連続で最高位を獲得した唯一の空港です。YVR は北米で最もアジア便が就航している空港です。



お問い合わせ先

在日カナダブリティッシュ・コロンビア州
政府事務所

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-9-2
大手町フィナンシャルシティグランキューブ 18 階

Tel: 03-3516-1501

Fax: 03-3516-1509

japan@britishcolumbia.ca

印刷：2018 年 5 月

記載内容の正確さについては本文書作成時点で万全を期していますが、言及されたプログラムや引用されたデータは予告なく変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

金額表示はすべてカナダドルです。

